



草笛学園 2024年 11月号

朝晩がぐっと冷え込むようになり、日中もだんだんと寒くなってきましたね。

咳や鼻水が出やすかったり、感染症も流行ったりしているので、基本的なことではあります。手洗いうがいはもちろん、しっかりとご飯を食べて、十分な睡眠をとりましょうね。室内を適度な温度と湿度に保つことも効果的なですよ！

## 自分を時間軸のなかでみつめられるようになる

5、6歳ごろになると、子どもたちは時間の流れを理解するようになります。こうした認識ができてくると、これまでは活動の結果で評価すること、すなわち「できた」か「できなかった」かでとらえることが多かった子どもたちが、「ここまでがんばったけど、ここはちょっとむずかしかった」と活動のプロセスをとらえられるようになっていきます。長い目でみた場合、子どもにつけたい力は、狭い意味での「できる」ではなく、自分で考え自分で工夫し、うまくいかなくても「どうしてか」と考えたり、自ら相談したりできる力です。そうした力をはぐくむためにも、プロセスを試行錯誤して考えられる活動を用意し、うまくいかないと思っている子どもにも「どうしたの」「どこがむずかしかったの」とゆっくり聞いていくようなことが大切になります。

さらには、時間的認識と結びついて、「前はできなかったけど、できるようになったよ」「前より大きくなったよ」と自分自身についても時間軸のなかでとらえられるようになっていきます。友だちと比べて、「自分はできない」「上手にできない」と自信をなくしがちだった子が、「〇〇ちゃん、ユリ組さんのときよりもずっと上手になったね」「前はすぐ泣いていたのに、ゾウ組さんになったら泣かなくなったね」と自分の変化を認められたとき、大きな自信を持つようになります。そのためには、おとなが、他の子と比べて「できる」「できない」とみるのではなく、一人ひとりの子どもの育ちにきちんと目を向けなければなりません。同時に、大きくなった自分、変わってきた自分を実感できる場や経験が大切になります。イチゴをつぶさずへたを取って洗えるようになった、すぐに泣かなくなった、自転車に乗れるようになった…日々の生活のなかで、自分の育ちを実感できるといいですね。

変わってきた自分に手ごたえをもてるようになるからこそ、「1年生になったら〇〇したい」「大きくなったら〇〇になりたい」と未来に向かって夢を育むようになります。学童期とは違って、まだまだ現実味は不十分ですから、“ウルトラマンナリタイ”といった内容も多いのですが、自分の未来に前向きに思いをもてることを大事にし、一人ひとりが未来へのねがいはぐくめるようにしたいものです。

参考文献：『シリーズ◎子どもと保育（5歳児）』 秋葉英則・白石恵理子 監修

次回のさくらんぼ教室は…

**さくらんぼ①** 12月8日『クリスマス製作』  
＜持ってくるもの＞  
はさみ・のり・マーカー

**さくらんぼ②** 12月の外来教室はありません  
次の外来教室は、1月23日（木）です  
やまのぼりをします  
動きやすい服で来てください！

### 『参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費は100円です。おつりのいらぬようご用意ください
- ・草笛学園集会室での活動となります
- ・靴は下駄箱に入れて下さい
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい（ジュース類は控えてください）